

ほ ほ え み

桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
電話番号 0277-44-7171(代) FAX 0277-44-7170
URL <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

- ◇ 医療局長・感染対策室長就任あいさつ 桑島 信
- ◇ 事務長就任あいさつ 天田 重穂
- ◇ 単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術 外科診療部長 待木 雄一
- ◇ 糖尿病フットケア外来
日本糖尿病療養指導士 茂木 由美子・福嶋 俊江
- ◇ 診療科の紹介(14) 皮膚科 診療部長 岡田 克之
- ◇ 外来診療担当医表 地域医療連携室

《基本理念》

向学心と優しさに満ちた医療

《基本方針》

1. 私たちは、患者さんの人権を守り、患者さん中心の安全で優しさに満ちた医療を行うよう努めます。
2. 私たちは、日々研鑽し、患者さんに良質で高度の医療技術と医療サービスを提供するよう努めます。
3. 私たちは、地域中核病院として、他の医療機関との連携を推進し、地域医療のニーズに応えるよう努めます。
4. 私たちは、地域に密着した医療を提供し、地域住民の厚い信頼を得るよう努めます。

《患者さんの権利》

1. ひとりの人間として尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
2. 治療内容、症状、経過などについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受けることができます。
3. 十分な情報提供に基づき、自らの自由意思で医療を選択し、決定することができます。
4. プライバシーが尊重され、診療上得られた個人の情報が保護されるすることができます。
5. 他の医師あるいは他の医療機関の意見(セカンドオピニオン)を聞くことができます。
6. 医療記録の開示を受けることができます。

《患者さんの責務》

1. 医師及び医療チームに対して、自らの情報を正確に伝え、適切な医療の実現に参加してください。
2. 院内では、他の方の権利を侵害せず、ルールをお守りください。
3. 研修医・看護学生など、これからの医療従事者の教育実習・研修を実施していますので、ご協力ください。

医療局長・感染対策室長就任あいさつ

くわしま まこと
桑島 信



このたび、新設の医療局長、感染対策室長を兼務することになりました。

医療局は、各診療科の医師が所属する部署で、医療局長の業務は各科の間の調整や共通する問題を病院執行部と交渉する窓口となります。医療の高度化、患者さんへの病状・治療法の選択肢の説明に十分な時間を取るようになったことなど、医師の業務は以前とは比較にならないほど多くなっています。また、病院医師の不足は当院でも大きな問題です。大きなストレスをかかえる医師の業務環境を少しでも改善し、よりよい医療を提供できるよう微力ながら努めたいと思います。

患者さんが入院されてから新たに発症する感染を病院感染といいます。高度化した医療の中では、避けられない合併症ではありますが、できるだけ減らす努力が必要です。当院では、病院感染対策委員会のもと、2002年から感染管理チーム(ICT)を組織し、職員が取るべき行動をまとめたマニュアルの作成や、器具の改善などに取り組んできました。医師・看護師・検査技師・薬剤師などで構成していますが、すべて兼任で、十分な時間が取れませんでした。昨年、大森優子看護師が、6ヶ月の研修を経て感染管理認定看護師の資格を取りました。今回、感染管理業務に専従することになり、感染対策室を新設しました。業務として、感染情報の管理、マニュアルの更新、職員への助言・教育、感染症発症時の対応などを予定しています。専従職員によって感染対策がより一層充実することを目指しています。病院の感染対策には職員のみならず、患者さん・ご家族の方のご協力も重要ですので、よろしくお願いいたします。



事務長就任あいさつ

あまだ しげほ
天田 重穂

4月1日から事務長となりました天田です。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

当院は、昭和9年「桐生組合病院」として、今から76年前に誕生したという本当に長い歴史を持った病院です。当時は20床、医師は4名で発足したようですが、現在は514床、医師は常勤医が67名と、その規模は大きく様変わりしています。当然、市民の皆さんの病院への期待も発足当初とは比較できないほど膨らんでいるものと考えています。ただし、膨らんでいる期待とは裏腹に、他の公立病院同様に医師不足への対応、救急医療への対応など、さまざまな問題が起きている現状にあります。また、病院の運営にも難しいものがあります。

当院が、これからも地域住民に健康と安心を提供し、常に信頼される病院であり続けるためには、医師会をはじめ、多くの関係者の皆様のご支援、ご協力が不可欠なものと考えています。

わたしは、“原点”という言葉が好きです。好きというよりも、何か迷ったときには、いつも考えるようにしている言葉です。公立病院の使命とは、その“原点”とは、地域住民の健康を守り、地域の発展に貢献することにあります。そのためには何が必要か・・・などと、心の中が迷ったときには考えています。公立病院のあり方や事務長としての仕事のことなど、まだまだわからないことばかりというのが、現在の本当の気持ちですが、社会人として、勤め始めたとき、社会に初めて参加したときの緊張感や向上心などを、この機会に思い出して、社会人としての“原点”に立ち返ってみようと思っています。

桐生厚生総合病院は、市民の皆さんにとって命を守るための“最後の砦”です。市民の皆さんが、この病院を信頼でき、安心して医療の提供を受けられるように、そして、この病院を選んでよかったと思われるように、今後、一生懸命、働いていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



たんこうしきふくくうきょうかたんのうてきしゅつじゅつ
単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術

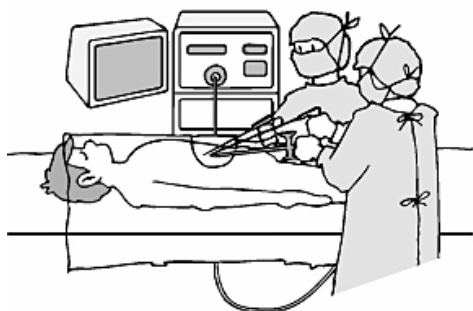
～腹部の1カ所の小さな傷だけで胆嚢を摘出する内視鏡外科手術です～

外科診療部長 待木 雄一

単孔式腹腔鏡下手術とは1カ所の小さな傷から行う腹部の手術で、腹腔鏡下手術の一種です。SILS (Single Incision Laparoscopic Surgery) もしくは TANKO などとも呼ばれています。日本では昨年から行われるようになり、全国的に広まりつつあります。現在のところは胆嚢摘出術を中心に行なわれていますが、虫垂切除や結腸切除にまで適応を広げている病院もあります。当院でも昨年8月から単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を開始しました。

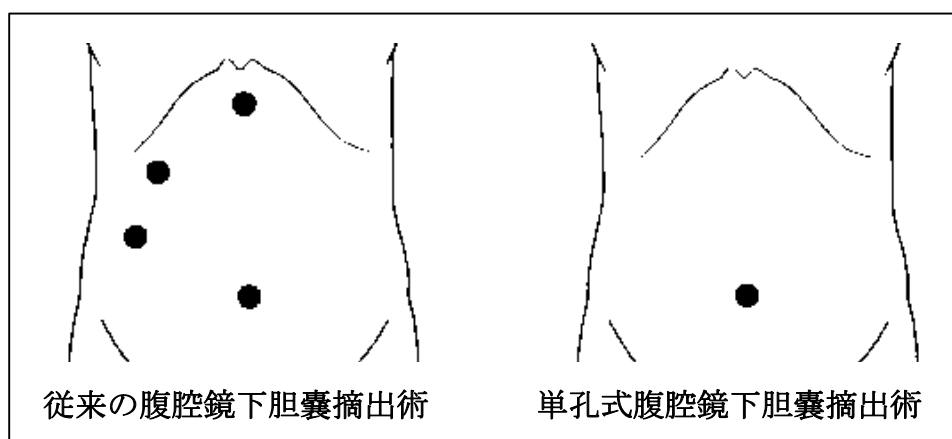


まず腹腔鏡下手術について簡単に説明をしたいと思います。腹腔とはいわゆる「おなかのなか」であり、胃や腸などの臓器が納まっている空間です。腹腔鏡はおなかの中を観察する「カメラ」で、原理は胃カメラと同じです。腹部に5-12mm程の穴を4-5箇所あけて、そこからカメラや専用の電気メスや鉗子(かんし)という道具などを入れて、テレビモニターを見ながら行う手術です。日本では1990年に導入され、20年が経過しました。現在では広く消化器外科領域の手術に行われるようになり、胆嚢摘出術は開腹術よりむしろ腹腔鏡下手術の方が一般的になってきています。



当院でも胆石症や胃癌、大腸癌等の消化器癌手術に対して腹腔鏡下手術を行っております。腹腔鏡下手術は開腹手術と比べて手術創が小さく美容上優れています。術後の傷の痛みが軽いため、早期社会復帰が可能です。また術後の腹腔内癒着が生じにくく、創感染などの術後合併症も少ないと言われています。

単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の場合、傷はおへその2cm程の小さな傷1カ所だけです。多くの場合傷はおへその中に隠れてしまいますので、おなかだけ見ると手術の傷が全くないようにみえます。手術の傷あとが残らないという意味で、患者さんの美容的な満足度が非常に高い手術ですが、本術式はさらに高度な技術が必要となり、腹腔鏡手術と胆道外科の両方に精通している必要があります。先日行なわれた日本肝胆膵外科学会(平成22年5月26日-28日、仙台)において、全国の病院でも本手術の導入が開始され数多くの症例発表が見られました。その中で当院の成績は全国的にみて遜色なく、安全に施行されていることが確認できました。今回の学会で出された提言としては、「本術式は美容的に優れているが、決して安全性がおろそかになってはいけない」ということでした。



手術において一番大切なのは安全性です。単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の実施の決定や手術を行なう際には、当院でも細心の注意を払っています。現在は比較的軽症な胆石症の患者さんに本手術を実施しております。CTなどの術前画像診断において胆嚢の炎症が強そうな場合や、胆管の枝分かれが通常と異なる場合は、手術中の安全性の確保が難しいことが予想されますので、本術式を適応とすることができない場合もあります。また単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を安全に施行するために、手術中の状況によっては適宜傷を追加したり、開腹手術に移行する方針で行っています。

患者さんの身体的・精神的負担をより軽減できるように、手術は日々研究され改良されてきています。腹腔鏡下手術もさらに進化をとげつつあり、単孔式腹腔鏡下手術という新しい手術が導入されてきました。当院においても、前向きに取り組み、技術の向上に努めるとともに、安全性には十分配慮して本手術を施行していきたいと考えております。



糖尿病フットケア外来

日本糖尿病療養指導士 茂木 ^{もぎ} 由美子 ^{ゆみこ}・福嶋 ^{ふくしま} 俊江 ^{としえ}

糖尿病フットケア外来は、平成 21 年 7 月に開設しました。フットケアには糖尿病療養指導士が担当しています。患者さんのご要望に応えられるように完全予約制を取り、ケアを行っています。

例えば、このようなことで悩まれていることはありませんか。

- ・最近、足先の感覚が鈍い感じがする。
- ・傷、水虫が治りにくい。
- ・爪に変形があり、爪切りに困っている。

糖尿病と足は、意外なほど関係が深いです。良好な血糖コントロールときちんとしたケアを ^{ほどこ} 施せば、糖尿病足病変の悪化を防止することができます。

現在、フットケアを受けられている患者さんからは、「足がきれいになった。足に関心を持つようになった。足の手入れ方法が分かった。」等の感想をいただいています。足でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

糖尿病フットケア外来のご案内

【診療日・時間】 毎週火曜日 午後 2:00～4:30 (予約制)

【場 所】 内科外来

【対象となる方】 糖尿病と診断され、担当医師から紹介のある方

【内 容】 神経障害の検査、足浴

巻き爪・深爪・鶏眼(ウオノメ)・胼胝(タコ) のケア
靴の選び方、爪の切り方・足のお手入れの指導
アロマセラピストによるフットマッサージ等

【備 考】 ご希望の方は、医師、看護師にご相談ください
(予約が必要です)

受診の際は、診察料のほかに糖尿病合併症
管理料(3割負担で510円)が加算されます

お問い合わせ先

桐生厚生総合病院 内科外来

TEL 0277-44-7171 (内線 314)





皮膚科診療部長 おかだ かつゆき
岡田 克之

皮膚科は、常勤医 2 名、今年度は月曜午前のみ非常勤医を加えての診療体制、私は平成 10 年 4 月から当院に赴任しております。

<皮膚病…数ある中で>

皮膚は人体最大の臓器！髪の毛から爪の先、時には粘膜まで、あらゆる皮膚病の診断と治療は、「目で見て触れること」が第一歩です。代表的な皮膚の病気は、湿疹・皮膚炎（アトピー性皮膚炎、かぶれ、手湿疹…）、蕁麻疹（赤く腫れて痒い）、皮膚掻痒症（何もなくて痒い）、感染症（足白癬、伝染性膿痂疹、帯状疱疹…）、疣贅・鶏眼・胼胝、皮膚腫瘍（良性から悪性まで）、薬疹、熱傷・褥瘡・小さな外傷、水疱症（天疱瘡、類天疱瘡…）、乾癬、膠原病および類症（エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎、シェーグレン症候群…）、ベーチェット病などでしょうか。皮膚科は病名が一番多いと言われますが、発疹が出れば皮膚科の守備範囲です。そして、発疹から全身性疾患の存在を見抜くことも皮膚科の役割と考えます。



<年間診療実績・平成 21 年度>

外来患者 13,963 名、1 日平均 57.7 名。新規入院 82 名。手術は、手術室で 150~200 件、陥入爪などは外来診察室で手術しています。医療機器として、炭酸ガスレーザーと紫外線照射装置を活用しており、ダーモスコピー（色素性病変の診断に役立つ）、イオントフォーシス装置（掌蹠多汗症の治療）を導入予定です。

<新しい治療>

乾癬：日本皮膚科学会の施設認定を受け、重症の乾癬に対して生物学的製剤（TNF-α 阻害薬）による治療を開始する予定です。
アトピー性皮膚炎：基本方針は、①スキンケア、②ステロイド薬の外用による皮膚炎の抑制、③抗アレルギー薬の内服による痒みの抑制です。免疫抑制薬は、以前から外用薬（プロトピック）で効果を上げていますが、重症例では内服薬（ネオオラル）を使えるようになりました。



皮膚科外来にて

<地域連携>

平成 21 年度に紹介状（診療情報提供書）をいただいたのは約 390 件、地域連携を進める中で、皮膚科以外の先生からのご紹介が約半分を占めました。

<チーム医療>

皮膚科だけでは治療を完結できないこともあります。例えば、膠原病、糖尿病性壊疽、悪性腫瘍、重い持病のある方などでしょうか。各科がチームを組むように協働しています。また褥瘡に対しては多くの職種が協働してのチーム医療で取り組んでいます。

<皮膚科の今後>

ゲーテの言葉「世の中で一番難しいものは何だろう？それは一番簡単そうに見えるもの：あなたの目の前にあるものをあなたの眼でみることです。」発疹は体の表面にありながら、なかなか奥深いものです。患者さんの QOL（Quality of Life：生活の質）向上を目指し、皮膚科医としての眼をさらに磨くよう努力していきます。時に頭を悩ませられますが…。



<消毒について>

あらゆる「傷」には消毒薬を使いません。なぜなら、傷が治る時に生じる新しい皮膚組織を傷めたり、細菌を食べてくれる細胞を壊して、かえって化膿させてしまう可能性があるから。何より「傷」は流水で洗浄することです。

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)